

ボランティアだより

編集・発行
(社福)大阪狭山市社会福祉協議会
大阪狭山市ボランティアセンター
大阪狭山市今熊1丁目85番地
TEL072-367-6601 FAX072-366-7407

プルトップを集めて車いすを贈る運動

~プルトップ部会のおゆみ~

皆さん、大阪狭山市にアルミ缶・スチール缶についているプルトップを集めて車いすを贈る運動があることをご存じでしょうか。

この運動は、平成13年に北海道江別市野幌商店街の青年部が「まちおこし」の一環としてスタートしたのがはじまりです。

大阪狭山市でも、この活動に共感した有志で、平成17年に活動をスタートしました。

当初は1ヶ月で7kgしか集まらなかつた活動も、今では1ヶ月に253kgを記録することもあるくらい大きな活動へと広がりました。遠いところでは、東京都や広島県にお住まいの人からもご協力をいただいています。

この活動をはじめ、記念すべ

き1台目の車いすを寄贈するまでに1年9ヶ月かかりました。このまま続けていけるか不安もありましたが、たまたま北海道江別市を訪れる機会があり、現地の地道な活動を目の当たりにして不安が消し飛んだのを思い出します。そこから「10台寄贈しよう!10年やろう!」を合言葉に続けてきた活動も、気が付けば今年で11年目を迎え、これまでに寄贈した車いすの台数は22台。

合言葉にしてがんばってきた目標も大きく上回ることができ、これも趣旨に賛同しご協力いただいている多くの人や、ともに活動してきた仲間があってこそ実感しています。

次に、プルトップ部会の活動を紹介いたします。プルトップ部会の仲間は17人です。主な活動内容は、皆さんから寄せられたプルトップを月1回整理しています。手作業でプルトップ以外の物が混じっていないか整理し、はかりかけ、専用の袋に梱包しています。

ともに活動が続けてきたメンバーも10年が経過し、高齢化しています。今も5団体から車いすを寄贈してほしいとの声をいただいています。今は「残り5台寄贈するまでやろう!体と気持ちが続く限り、活動を続けよう!」を

合言葉にしています。

一緒に活動してくれるメンバーを大募集中です。地道な作業ですが、みんなでおしゃべりしながら楽しく活動しています。

一つ一つは小さなプルトップも、集荷袋に詰めると約25kgになるので、力のある若者の協力があれば嬉しいです。小さなプルトップが車いすに替わったときの喜びを一緒に感じてみませんか。

この活動に興味を持っていただいた人は、大阪狭山市ボランティアセンターまでご連絡ください。

☎072-367-6601
プルトップ部会 岡田・武藤談



善意で集まったプルトップ



選別作業中



5kgに袋詰め



25kgの集荷袋に詰めて北海道へ



約700kgで、ようやく車いす1台に



ボランティア募集

ボランティアさん募集!

くみのき苑では、
手芸・書道・折り紙・コミュニケーション・音楽など、さまざま
なボランティアさんを募集しています。
趣味や特技を生かして、入居者様、ご利用者様と一緒に楽しい
時間を作っていただけませんか？



はじめての方、何かできることは無いかと思っている方も大歓迎です！
ボランティア活動に興味をお持ちの方は、お気軽にお問合せください。

介護老人福祉施設 くみのき苑 ☎072-368-2777
住所：大阪狭山市東くみの木4丁目1977番地

～大阪狭山市社会福祉協議会の登録ボランティアさんには、
いつも笑顔とパワーをいただき感謝しております。～

生涯学習型デイサービス

寺小屋 結いまる

寺小屋 結いまるは、生涯学習型デイサービスとして
昨年の4月にOPENしました。

生涯学習型という今までになかった形のデイサービスで
あるため多くの方に利用していただいています。

現在では、社交ダンス・パソコン・書道・ヨガ・俳句・
生け花・パステルアート・プリザーブドフラワーなど、
馴染みのあるものから目新しいものまで約30の教室を
行っています。

寺小屋 結いまるでは、多様なニーズにお応えできる
よう、毎月新しい教室を取り入れています。

ボランティア講師を中心に、中身が濃く楽しい活動を日
々行っています。

絵手紙教室の様子



絵手紙・編み物・体操などのボランティア募集中!!

※問い合わせ TEL：072-349-4424 《担当：松田》

住所：大阪狭山市東築穂木二丁目1868-1

第4回傾聴ボランティア養成講座を終えて

傾聴ボランティアグループ「傾聴さやま」では、2月25日、3月3日、市立公民館において大阪狭山市社会福祉協議会の協賛により第4回傾聴ボランティア養成講座を開催しました。

当日は、大阪狭山市、堺市、富田林市から、定員を超える47人の参加者があり、傾聴の意義や方法を講義とロールプレイ（役割実演法）で学んでいただきました。

「心を傾けて相手の話を聴くことは、良い人間関係を築くうえで最も大切なこと」

「傾聴を行うのは難しいが、高齢化社会で必要性は大きい」

「傾聴ボランティア活動をすることで、少しでも社会貢献したい」

「活動はできないが、職場や家庭において講座で学んだことを活かしたい」

など受講者の皆さまから様々なご意見がありました。4月から14人の新しい仲間が加わり現在47人の会員が、市内の高齢者施設や高齢者宅に訪問し活動しています。

これからも定期的にこのような講座を開催することにより、市民の皆さまの傾聴に対する理解が広まり、共に地域で助けあえたらと願っています。



手話サークルさやま主催手話教室を終えて



私たち手話サークルさやまは「多くの人に手話を普及したい」「聴覚障がい者を理解してほしい」との思いで活動しています。そして、私たちは、サークル会員を増やすために、毎年、手話教室を開いています。

聴覚障がい者のコミュニケーション手段である手話を学習していく中で、聴覚障がい者について理解を深め、差別のない地域社会へと変えていくことが目的です。約3年前に鳥取県で初めて「手話言語条例」が制定されました。言語としての手話が広がり、聞こえる人と聞こえない人が等しくコミュニケーションをとれ、情報が共有できるようになると期待しています。

今年度の手話教室は、7人の参加があり、1月25日～3月14日の8日間で、ろう者の講師により行いました。少人数のため、ろう者の手話を間近で見ることができました。初日は自己紹介の手話を学びましたが、講座が進むにつれ意欲的な雰囲気が伝わってきました。

最終日には、次に始まる社会福祉協議会主催の手話講座でもっと手話を勉強したいと希望され、5人が申込みをされました。これをきっかけにサークル入会者が増えたらいいなと思っています。

春のボランティア ジュニアスクール 「みんなで あそぼう」を開催！！

3月28日、市立公民館に、市内の小中学生25人が集まりました。

「みんなで あそぼう」をテーマに、午前中は、チームにわかれて、ジェスチャーゲームや風船運びゲーム、豆つかみにお菓子食い競走で遊びました。

午後からは、食に関するクイズや紙飛行機づくり、手話コーラスで「365日の紙飛行機」を歌いました。



午前中は、体をいっぱい動かして、午後からは脳をフル回転で遊んで、大人も子どもも一緒になって全力で楽しんでいる姿がとても印象的でした。

遊びを通して、ボランティアについて学んでもらえたなら嬉しく思います。



ほのぼのメモ

言葉ひとつで子どもは変わる！

これは「少年サポートセンター」に勤務する少年育成指導官の体験からの話です。愛情が足りず枯れそうになった根っこ。傷ついた根っこを癒す言葉かけをしていますか。子どもの心は大人が思うよりずっとやわらかく、傷つきやすいものです。どんなに傷ついても親に心配かけないように、嫌われないように、その傷を無理して封印してしまいます。「何か悩んでるんじゃない」と言葉をかけ「話をちゃんと聞くと安心させます。子どもは話を聞いてくれるのを待っているのです。拒否する子どもにも諦めないで「あなたがいるだけで、お母さんは幸せ」「お前が生きる力になってるんだよ」と。そして「いつも味方だよ」の言葉です。子どもの自尊心を育み、存在そのものを肯定することが大切なのです。

ここに、子育てに対して大事なことを、いくつか紹介します。



- ① 子どもの間違いや失敗は理由をよく聞く。
- ② スキンシップで接する。
- ③ 子どもとの約束は必ず守る。
- ④ 食卓の団らんが大切。子どもの話題で盛り上がるとなお良い。
- ⑤ 子どもに命令して、服従を強制しない。人格や主体性を認める。
- ⑥ 兄弟やよその子と比較しない。
- ⑦ 子どもの努力が認められたら、しっかりと褒めてやる。
- ⑧ 子どもの前では、夫婦の考えを同じにする。
- ⑨ 「お金こそすべて」という価値観を持たせない。
- ⑩ 夫婦仲良く、会話をする。

子育ては難しいものです。「子どもは宝」です。愛情を持って、真正面に向き合ってください。その真剣さが子どもに伝われば、きっと子どもの心も変わることでしょう。

紹介図書：安永智美著（2011年）「言葉ひとつで子どもは変わる！」

河原林富美福祉基金配分申請受付のご案内



故河原林富美氏からの遺贈により河原林富美福祉基金を設置しました。

大阪府共同募金会では、社会福祉推進事業の支援でこれまであまり手を差し伸べていなかった福祉の狭間の事業や福祉の周辺領域で支援を要する事業に対する配分申請を受け付けます。

受付期間：平成 28 年 6 月 1 日（水）～ 6 月 20 日（月）まで

詳しくは、大阪府共同募金会ホームページ <http://www.akaihane-osaka.or.jp> をご覧ください。

赤い羽根おおさか

問合せ：大阪府共同募金会まで
☎ 06-6762-8717

編集後記

夏日を思わせる気候で木々の若葉がまぶしく、街角には花々が咲き乱れています。
熊本・大分地方を襲った激震で、家屋の倒壊、ライフラインの不通、余震の不安でたくさんの方が避難生活を余儀なくされ、不自由な生活をされているのをテレビで見ると胸が痛みます。
こちらでも南海トラフの心配があります。不断から災害に対しての準備が必要です。被災した人たちも夢や希望をもって強く生きてほしいと思います。

〈楠田〉